

岡山大学附属図書館と環太平洋大学附属図書館との間における 「岡山共同リポジトリ」事業に関する協定の締結について（概要）

1. 概要

岡山大学附属図書館（本水昌二館長）が推進する「岡山共同リポジトリ」事業に関する協定締結の第1号として、7月3日（木）に環太平洋大学附属図書館（佐々木宏子館長）と調印を行いました。本協定は、岡山大学附属図書館が用意した「岡山共同リポジトリ」サーバ上に環太平洋大学の専用リポジトリを構築し、環太平洋大学が自らの研究成果を発信することを目的とするものです。



今後は本協定に基づいて環太平洋大学リポジトリの構築を進め、本年10月のテスト公開、平成21年4月の本公開を目指します。

2. 機関リポジトリについて

現在世界中の学術機関において、自機関の構成員による研究成果を蓄積、保存し、インターネットを通じて発信する「機関リポジトリ」という事業が一般化しつつあり、世界中で1,163 (*1)、国内で83 (*2) のリポジトリが運用されています（平成20年7月1日現在）。「機関リポジトリ」により、一般に入手が困難であった大学紀要（大学が発行する学術雑誌）や学位論文などの入手が容易となるため、情報公開の促進や地域貢献に資することが期待されています。また、情報公開促進の結果として研究成果の可視性が向上し、学術コミュニティ内部に埋もれがちであった研究成果の利用促進が期待できます。

岡山大学では平成18年4月に「岡山大学学術成果リポジトリ」(*3) の公開を開始し、登録コンテンツ約15,000件（平成20年4月現在）に対して、昨年度1年間で約24万件ダウンロードされています。

以上のように大きな効果の期待できる「機関リポジトリ」ですが、独自に構築する場合、サーバ購入経費のほか、システム構築のため一定の知識やスキルが必要となり、中小規模の研究機関にとってはやや負担が大きい事業といえます。

(*1) Directory of Open Access Repositories – OpenDOAR <http://www.opendoar.org/find.php>

(*2) 国内の機関リポジトリ一覧（国立情報学研究所） <http://www.nii.ac.jp/irp/list/>

(*3) <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/eprints/>

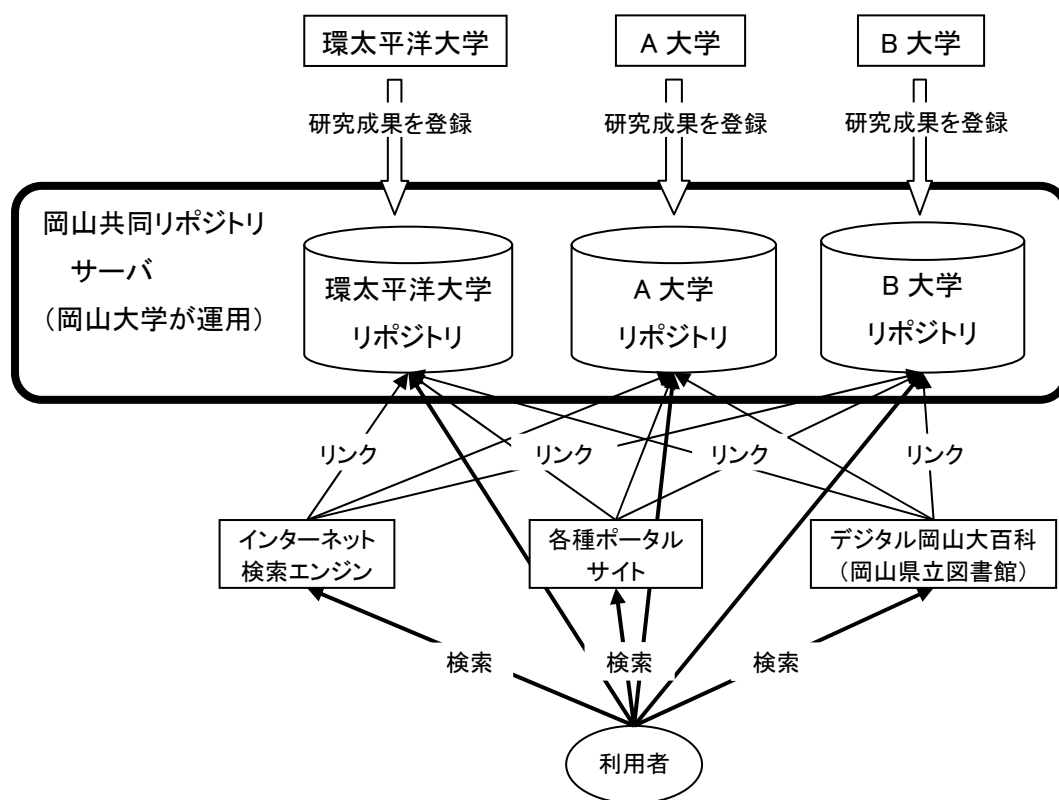
3. 岡山共同リポジトリ事業について

「岡山共同リポジトリ」事業では、岡山大学附属図書館が用意した「岡山共同リポジトリ」サーバ上に各参加機関それぞれの専用リポジトリ・システムを構築いたします。これにより、各参加機関は初期投資や構築の手間をかけることなく自機関専用のリポジトリを構築でき、研究成果の登録作業を行うだけで簡単にインターネットを通じた情報公開・地域貢献が可能となります。

「岡山共同リポジトリ」サーバ上の各参加機関リポジトリに登録された研究成果は、Google などの検索エンジンや各種ポータルサイトから検索できるほか、岡山県立図書館の「デジタル岡山大百科」との連携も進める予定です。

岡山大学附属図書館は本事業が岡山地域の学術コミュニティによる情報発信に大きく資するものであることを確信し、今後も県内他機関とともに本事業を推進してまいります。

「岡山共同リポジトリ」概念図



本件担当

国立大学法人岡山大学 学術情報部 情報管理課 電子情報係 (竹下、大園)

Tel. 086-251-7315 Fax. 086-251-7320

Email. fbf7320@adm.okayama-u.ac.jp